

2021年度 事業報告



一般社団法人 地上放送RMP管理センター
(TRMP)

一般社団法人 地上放送RMP管理センター

2021年度事業報告

【2021年4月1日～2022年3月31日】

1. 事業報告 [概要]

地上放送 RMP 方式 (TRMP 方式) に対応した地上デジタル放送受信機は、スマートフォンやカーナビゲーションシステム等の移動受信機を中心として順調に普及している。

2017 年度に発覚した ARIB 規格外受信機については、前年度に引き続き、受信機メーカーによる修正を継続しつつ、未然に防止する施策として、新規メーカーとのライセンス契約締結時や、TRMP 方式搭載受信機のテスト環境での確認などの機会に、きめ細かく対応すべく、準備してきた。

近年、新規にライセンス契約を求めてくるメーカー数は大幅に減少しており、鍵情報を発行・管理する「鍵管理システム」の稼働時間も低減しているが、一方で機器の老朽化が著しいため、次期システムへの更新を、2022 年度完成を目指して開発・整備を進めた。

また、RMP データの重要性に関する啓蒙活動に努め、その管理状況について前年度に引き続き確認した。

2022 年度も引き続き、TRMP 方式の安定運用という責任を果たし、地上デジタル放送の発展に貢献していく。

2. 各部の事業報告

2-1 技術部

前年度に引き続き、効率的かつ安定的な鍵管理システムの運用を心掛けるとともに、2020年度に着手した更新計画について、請負メーカーを決定し、2022年度の更新完了を目指して詳細打合せを開始するなど、本格的に進めた。

① 鍵管理システム更新作業の本格化

2020年度に、技術委員会の傘下に設置した「鍵管理システム更新TG」において、検討を続けた。2021年度は請負メーカー候補の選定から始め、より正確な更新予算の算出、メーカーの決定等、更新作業のピークを迎え、設備更新の完了となる2022年度につなげた。

② 鍵管理システムの延命施策・メンテナンス方法の改善

一方、現鍵管理システムはより長く運用できるように、セキュリティ、コストとのバランス等を考慮しながら、現状の運用実績に見合ったメンテナンスを実行した。

③ ライセンス契約済み受信機メーカーへの適切な対応

契約に基づき、TRMP方式対応受信機の出荷情報等の提出の徹底を図った。2017年度に発覚したARIB規格外受信機について、修正作業はほぼ収束した。ただし、当該受信機についての現状の稼働台数を正確に把握するのは難しく、そのため完全に完了するまで促進させるよう、今後も継続して対応を行う。また、新しい製造スキームなどに対してもアドバイスを行うなど適切なフォローを実施した。

④ 新規メーカーへのライセンス契約対応とテストベッド提供

ライセンス契約を希望するメーカーに対し、技術的スタンスから説明を行い、総務経理部と連携して適切に契約手続を進めた。鍵更新機能等の動作検証を行えるテスト環境（テストベッド）の活用を契約済みメーカーに促し、トラブルの未然防止を図った。

⑤ 技術委員会、鍵管理システム更新TGの運営

技術委員およびTGメンバーとの連携を図り、委員会やTGの適切な運営を図った。鍵管理システムの運用や更新計画、メンテナンス方法について検討を進めた。

2-2 総務経理部

契約済受信機メーカーとの適切な関係の維持、およびシステムの安定性と信頼性を確保しつつ、テレワークなど新しい働き方を加速するため、以下の施策を実施し、地上デジタル放送のインフラを支えるコストセンターを意識して、効率的かつ効果的な事業運営に努めた。

(1) 総務関連

① 社員総会・理事会等関連会議の円滑な運営

総務経理部が事務局を務める、社員総会、評議委員会、理事会、運営委員会等の運営にあたり、全国の会員社、理事・監事、委員会委員、関係する事業者等と連携を図り、効率的な運営を行った。

② ライセンス契約済受信機メーカーへの適切な対応

TRMP方式の安定運用に向けて、技術部と連携し、契約先の正当性および鍵情報等「秘密情報」の適正な管理に留意し、出荷前報告等によるTRMP方式搭載受信機の把握に努め、適切な対応・フォローを行うことでトラブルの未然防止を図った。

③ 新規メーカーへのライセンス契約対応

新規のライセンス契約については、技術部と連携し、国内外の様々な形態の受信機メーカーに対して、透明性や公平性を確保した上で、個別説明から審査、契約までの対応を機動的かつ厳正に行い、適正なライセンス契約の締結を図った。

④ 業務内容の見直し

これまで蓄積してきた、メーカー対応のノウハウやコンテンツ保護に関連する各種情報をベースに、技術・契約・情報管理・提供等の事務局機能の整理・充実を図るため、技術部と連携し、適宜業務内容を見直した。

⑤ 的確な周知広報活動の実施

透明性、公共性を確保した事業運営について、ホームページの活用を通じた的確な周知広報活動を行うため、随時アップデート作業を行った。

(2) 経理関連

TRMP 方式の安定運用及び信頼性確保、また鍵管理システムの更新を見据えて、予算を的確に執行するよう、適正な会計処理を徹底した。また今後の事業動向を踏まえ、予算管理を厳格に行い、かつ適宜運営経費の精査を行い、監査への確実な対応に努めた。

2-3 その他

地上放送 RMP 管理センターの透明性、公益性、非営利性の確保に向けて、常に、コンプライアンスとガバナンスを意識し、評議委員会を活用した法人運営に努めた。

以上

(参 考)

定款上の事業	事業内容
コンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報のライセンス発行	<ul style="list-style-type: none">受信機メーカーへのコンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報ライセンス契約の調整、契約に関する業務放送事業者へのコンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報ライセンス契約の調整、契約に関する業務
コンテンツ権利保護専用方式の鍵情報の管理、更新及びデータベースの運用	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式に係る鍵管理システムの開発、調達に関わる業務コンテンツ権利保護専用方式に係るテストストリーム、テスト鍵の発行に関わる業務
コンテンツ権利保護専用方式に係る秘密情報漏えい・不正受信機の調査、検証及び対策	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式に係る秘密情報漏えい・不正受信機の調査、検証及び対策に関する検討
コンテンツ権利保護専用方式の周知広報	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式の周知・広報に関わる業務
上記業務に付帯する業務	<ul style="list-style-type: none">運営委員会の運営評議委員会の運営関係事業者との連絡、調整、経費支払い関係事務

3. 会員の状況及び法人の運営

3-1. 会員の状況

区 分	2020年 3月31日現在	2021年 3月31日現在	2022年 3月31日現在
正 会 員	1 2 8 社・法人	1 2 8 社・法人	1 2 8 社・法人
賛助会員	1 社・法人	1 社・法人	1 社・法人
合 計	1 2 9 社・法人	1 2 9 社・法人	1 2 9 社・法人

3-2. TRMPの運営

2021年度に開催された公式会議と議案は以下の通り。

区 分	回 数	開催日
総 会	第17回 (web)	2021年6月24日
理事会	第68回 (メール)	2021年3月31日
	第69回 (WEB)	2021年6月8日
	第70回 (WEB)	2021年6月24日
	第71回 (WEB)	2021年12月7日
	第72回 (WEB)	2022年2月24日
運営委員会	第38回 (WEB)	2021年5月20日
	第39回 (WEB)	2021年11月24日
	第40回 (WEB)	2022年2月8日
評議委員会	第12回	2022年3月23日

※上記の他、技術委員会を開催した。